

「温室効果ガス排出抑制計画制度」に基づく 令和3年度実施状況の公表

【特定事業者】136事業者（事業者単位：合計の原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年以上）

- ・ 総排出量は、基準年度に対して、一部増加している企業が見られるものの、減少している企業も多く、全体では減少した。
- ・ 主な理由としては、省エネ性能の高い設備の導入や運用改善等による排出抑制対策の推進、新型コロナウイルス感染拡大による生産調整や営業縮小等による影響が考えられる。
- ・ 原単位排出量は、積極的な設備投資等を通じた排出抑制対策の推進により減少している事業者が見られる一方、新型コロナウイルス感染拡大による生産調整や換気の影響で増加した事業者も見られた。

排出量の単位：t-CO₂

計画期間 (年度)	基準 年度	目標 年度	事業者数	基準年度 総排出量	R3年度 総排出量	対基準年度総 排出量増減率	対基準年度原単 位排出量増減率
R1～R3	H30	R3	11社	54,807	43,237	△21.2%	42.5% (△11.3%※※)
R2～R4	R1	R4	118社	1,157,257	1,127,984	△2.5%	△-1.6% (△2.4%※※)
R3～R5	R2	R5	7社	61,273	64,401	5.1%	0.2% (△12.1%※※)
合計			136社	1,273,337	1,235,622	△3.0%	

※原単位排出量：各事業者の温室効果ガス総排出量を、生産数量や延床面積等のエネルギー使用量と密接な関係を持つ値で除した値（例：製品1個単位や面積1m²単位の温室効果ガス排出量）

※※カッコ内は当該年度の原単位排出量が特異値となった事業者を除いた数値。

【トライアル事業者】37事業者（特定事業者以外で本制度に取り組む事業者）

- ・ 総排出量は、基準年度に対して、一部増加している企業が見られるものの、減少している企業も多く、全体では減少した。
- ・ 主な理由としては、省エネ性能の高い設備の導入や運用改善、従業員教育の取組の影響が考えられる。

排出量の単位：t-CO₂

計画期間 (年度)	基準 年度	目標 年度	事業者数	基準年度 総排出量	R3年度 総排出量	対基準年度総 排出量増減率
R1～R3	H30	R3	4社	175	155	△11.4%
R2～R4	R1	R4	15社	8,096	7,938	△2.0%
R3～R5	R2	R5	18社	3,716	3,620	△2.6%
合計			37社	11,987	11,713	△2.3%

※トライアル事業者には原単位排出量の報告を求めている。